

(編集後記)

本号で、「多民族社会における宗教と文化」研究ノートは、20号を迎えました。大学が変革期にあるなか、雑務に追われる日々が続きますが、こういうときこそ、研究活動をきちんとおこなうことが大事ではないかと感じています。今年度の研究会で嬉しかったのは、昨年7月に、本学国際文化学科の卒業生2人が、研究者として報告をおこなってくれたことです。学部の学生時代に、本共同研究の研究会に参加してくれた卒業生が本学に戻り、後輩の学部生も参加するなかで、研究発表をおこなうというのは、教師冥利につきます。研究会を定期的におこなうことで、次代の研究者の卵を育てていくことも教員としての役目だと思いますし、様々な分野の研究者が集い、活発な議論をする姿をみせるのも、学生たちに知的な刺激を与えることになると思います。

今年度から、本共同研究のメンバーとして、家族社会学・ジェンダー論を専門とする天童睦子先生を迎えました。11月には、天童先生が中心になって、キリスト教文化研究所の公開シンポジウム「人間の復興と女性のエンパワーメントー女子大学から立ち上がる復興の新たなかたちー」を開催することができました。来年度も新しいテーマで、研究会をおこなえるものと期待しています。

(八木祐子)

2016年度 共同研究会メンバー

市野澤 潤 平	観光学・文化人類学 (タイ)
間 瀬 幸 江	演劇学・出版文化論 (フランス)
J・F・モリス	歴史学 (日本・オーストラリア)
新 免 貢	聖書学 (日本・アメリカ)
杉 井 信	社会人類学 (フィリピン)
天 童 睦 子	家族社会学
八 木 祐 子	文化人類学 (インド)
後 藤 純 子 (客員研究員)	インド学
木 曾 恵 子 (客員研究員)	文化人類学 (タイ)
富 永 智津子 (客員研究員)	歴史学・地域研究 (アフリカ)
豊 山 亜 季 (客員研究員)	文化人類学 (インド・ヨーロッパ・日本)

多民族社会における宗教と文化 No. 20

2017年3月31日 発行

編 集 八 木 祐 子

発行者 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所

981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1

電話 (022) 277-6210

E-mail: kiriken@mgu.ac.jp